

# 後期分授業料免除申請のしおり

【大学院生用】

鳴門教育大学  
学生課 学生係

## I. 対象者

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 前6か月間（令和2年4月1日から令和2年9月30日）において、学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡、又は当該学生もしくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合（退職金・保険金・損害賠償等の臨時所得がある場合は、免除が不許可となることもあります。）
- (3) 前記（2）に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

なお、次の者は選考の対象とはなりません。

- ① 現職教員
- ② 最短修業年限を超えた者又は申請の前年度に留年した者のうち、理由が病気・留学等の特別な事情によると認められない者（申請前に確認してください。）

## II. 評価基準

選考の基礎となる家計及び成績の評価基準は以下のとおりです。

### ○家計評価の基準

家計の評価は、世帯の1年間の総所得金額により行います。（住宅建設、その他の借財は考慮できません。）また、配偶者がいなく、父又は母がいる場合は、原則として独立生計者として認めることはできません。（私費外国人留学生を除く。）

経済的理由により授業料の納付が困難であることを認定するための家計評価基準については、所得の種類・特別控除額・世帯人数等により異なるため一律に説明することはできません。

### ○成績評価の基準

在学生：前年度までの成績（4段階評価の成績換算値）

1年次生：出身大学の成績（大学院を修了していても、学部の時の成績）

私費外国人留学生1年次生：入試の成績

## III. 申請手続

- (1) 提出方法 原則として、学生課学生係へ本人が持参すること。  
受付時間：午前8時30分から17時15分まで  
（土日祝日は除く。）

ただし、新型コロナウイルスの感染防止等のやむを得ない理由により直接持参ができない場合は、郵便（**特定記録**もしくは**簡易書留**）による提出を認めます。**特定記録**もしくは**簡易書留**によらず**発送した場合において、申請書類が学生課に届かない場合には、提出が無かったものと見なします。**発送の際、郵便局で受け取った**受領証は必ず保管**しておいてください。

- (2) 提出期限 **令和2年10月15日(木)17時15分まで(厳守)**  
**郵送の場合は、10月15日(木)必着**  
期限を過ぎた場合は一切受理できません。
- (3) 結果通知 学生用掲示板にて周知し、学生課学生係窓口で選考結果通知書を交付します。(12月下旬予定)
- (4) 注意事項 授業料免除申請者は、**結果が判明するまでは授業料を納付しないでください**。(授業料免除申請者は、授業料口座振替申込書を提出していても10月、11月の引落は行いません。)
- (5) その他
- ・提出書類の内容等について**各申請者に確認や質問をする時は、各人の学内メールアドレス(学籍番号@naruto-u.ac.jp)又は携帯電話へ連絡をします**ので注意しておいてください。088-687-6000の電話番号から着信があった場合、大学のいずれかの部署からの電話ですので、電話に出られないときは折り返し連絡をください。
  - ・提出書類に関して分からないことがあれば、学生課学生係まで問い合わせてください。  
( 電話 088-687-6119 E-mail kousei@naruto-u.ac.jp )

#### IV. 提出書類

##### 【申請者全員が提出する書類】

- (1) 授業料免除申請提出書類チェック表  
専攻・コース等、氏名、電話番号及び学籍番号記入し、書類不備がないか確認してください。  
「該当者(続柄)を記入」の欄に、該当者の続柄を記入しておいてください。
- (2) 授業料免除申請書
- ①氏名欄は、**本人が自署**してください。
  - ②免除理由欄は、必ず本人が詳細に記入し、欄が不足するときは裏面に記入するかもしくは別紙(様式自由)に記入して添付してください。
  - ③SEO 奨学基金用資金による修学支援について、支援希望の有無をチェックしてください。(私費外国人留学生を除く)
- (3) 家庭調書  
必ず本人が記入してください。(家庭調書記入例 参照)
- (4) 住民票
- ①R2.7.1以降発行のもの。
  - ②マイナンバーの記載がないもの。
  - ③同一生計内の「**世帯全員**」のもの。  
なお「同一生計」とは、同居・別居を問わず申請者と生計を一にすることで、具体的には、父母等と同居する家族全員及び就学や病気療養等により別居している家族が該当します。(別居独立の兄弟姉妹は該当しません。)
- ※学費負担者の世帯と住民票が別であっても、生計が同一である人がいる場合はそれぞれの世帯全員の住民票と、生計が同一であることを説明した書類を提出してください。  
(本人及び就学者については提出しなくても構いません。)
- (5) 令和元年分所得証明書(最新の所得証明書)
- ①収入の有無にかかわらず同一生計内の**世帯全員分**。  
※ただし、就学者は除く。独立生計者は本人分も必要。

②次表【収入を証明する書類の例】の「分類」に該当する者が世帯にいる場合は、**所得証明書に加えて次表の書類を提出すること。**

**【収入を証明する書類の例】**

分類	証明書類等	発行場所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年（平成31年）中に就職した者</li> <li>・令和2年に就職（予定を含む）した者</li> </ul>	令和2年分（1月～12月）の年収見込証明書 ※年収見込証明書の取得が困難な場合は、月収（見込）証明書又は最新3か月分の給与明細書のいずれかを提出してください。ただし、この場合は賞与があるものと仮定して計算しますので、賞与がない場合はその旨を書面（労働条件通知書の写し等）で申し出てください。	勤務先  提出書類チェック表の別表参照
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年（平成31年）中に退職した者</li> <li>・令和2年に退職（予定を含む）した者</li> </ul>	退職（見込）証明書及び退職金支給日・支給額（見込）証明書 （支払われない場合もその旨記載した証明書）	勤務先  提出書類チェック表の別表参照
年金・恩給等の受給者（予定を含む）	令和元年（平成31年）分の公的年金等の源泉徴収票の写し及び支給窓口発行の最新の年金交付（改定）通知書（ハガキ）又は証書の写し ※遺族，母子，障害，個人年金等も含まれます。	日本年金機構 各関係機関
無職無収入の者	無職無収入の申立書	申立者が作成
失業者	雇用保険受給資格者証の写し（受給期間が満了している場合は無職無収入の申立書）	ハローワーク
専門実践教育訓練給付金を受給している者	受給金額が証明できる書類	ハローワーク
生活保護受給世帯	生活保護受給証明書等（受給金額がわかるもの）	市区町村役場，福祉事務所等
児童扶養手当を受給している者	児童扶養手当支給額証明書等（受給額のわかるもの）	市区町村役場，福祉事務所等

(6) 令和元年分課税証明書（住民税課税状況の記載がある最新のもの）

課税の有無にかかわらず、同一生計内の世帯全員分

ただし、就学者は除く。独立生計者は本人分も必要。

※「課税証明書」に所得金額の記載がある場合は「所得証明書」は不要。

- (7) 授業料免除関係調査票  
事実をありのままに記入し、申請者全員が提出してください。
- (8) アルバイト等収入報告書  
収入の有無に関係なく申請者全員が提出してください。
- (9) 封筒（長形3号）  
結果通知を封筒に入れて交付します。  
所属している専攻・コース等及び学籍番号・氏名を表面に丁寧に記入して提出してください。

**【該当する場合に提出する書類】**

- (10) 出身高校の成績証明書（1年生のみ 私費留学生を除く）  
出身大学の成績証明書を提出してください。（他の大学院を修了した者も同様）  
ただし、以下の申請において提出済みの場合、再度の提出は不要です。  
・令和2年度入学料免除・徴収猶予申請      ・令和2年度前期授業料免除申請  
・令和2年度日本学生支援機構奨学金 貸与奨学金又は給付奨学金の申請
- (11) 証明書（授業料免除状況）  
この証明書は、就学者（兄弟姉妹）の授業料免除状況を証明するものです。  
**10月1日以降に発行されたもの**を提出してください。  
※他の書類の提出期限と同じく 10月15日（木）までに提出してください。  
「授業料免除関係調査票」の「1. 授業料免除状況」で「いる」と記入した者のみ、就学者（兄弟姉妹）が授業料免除されているか否かにかかわらず提出してください。ただし、高校生以下（高等専門学校生については3年生以下）の就学者は不要です。
- (12) アルバイト料支払（見込）証明書  
「アルバイト等収入報告書」でアルバイト等の収入を報告した人が提出してください。  
アルバイト等の収入がある本人又は配偶者について、令和2年分(1月～12月)の収入(又は収入見込み)を雇用主に証明してもらってください。  
ただし、令和元年（H31年）（H31.1.1～R1.12.31）にアルバイトで得た金額と受給した奨学金（返還の必要がないもの。貸与型奨学金は含まない。）の合計金額が100万円を超えない場合は、提出の必要はありません。（「アルバイト等収入報告書」のみ作成して提出してください。）
- (13) 1か月当たりの生活費状況調べ  
独立生計者と認められる者のうち、配偶者が無い者又は配偶者に十分な収入がないと思われる者は、令和2年度4月～9月の状況を記入してください。  
それ以外の者の提出は不要です。
- (14) その他

**家族及び本人が次の区分欄に該当する場合は、各証明書を提出してください。**

区 分	証 明 書 類 等	発 行 場 所
令和2年10月1日現在で高校生以上の就学者がいる世帯	各学校所定様式の在学証明書 <b>(10月1日以降の発行日のもの)</b> ※他の書類の提出期限と同じく <u>10月15日（木）までに提出</u> してください。 なお、「証明書（授業料免除状況）」を提出している場合は提出不要です。 <u>(ただし、R元年度と同じ学校にR2年度も在学している場合に限る。)</u>	就学先  提出書類チェック表参照

障がい者のいる世帯	障がい者手帳等の写し	都道府県，病院等
●長期療養者のいる世帯 (申請日現在において6か月以上にわたる期間療養中の者又は療養を必要と認められる者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の証明書（<u>長期療養を要する旨が記載されたもの</u>）又は6か月以上にわたる長期療養が証明できる書類（<u>発行から1年以内のもの</u>）</li> <li>・経常的に支出する金額を証明できるもの（領収書等）</li> <li>・保険金を受給した場合は，受給した日・受給額等がわかる書類</li> </ul>	病院，保険会社等
●風水害等の被害を受けた者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・罹災証明書及び罹災額証明書</li> <li>・損害保険等支払証明書</li> </ul>	市区町村役場等 保険会社等
●盗難等の被害を受けた者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害届出証明書</li> <li>・損害保険等支払証明書</li> </ul>	警察署， 保険会社等
主たる家計支持者が単身赴任で別居中の世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単身赴任の証明書</li> <li>・住居費等の実費が確認できるもの</li> </ul>	市区町村役場， 勤務先等
●学資負担者が6ヶ月以内（R2.4.1～R2.9.30）に死亡した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡確認ができる書類（戸籍抄本，死亡診断書等）</li> <li>・生命保険金，退職金等の金額を確認できる書類</li> </ul>	市区町村役場， 病院等 保険会社， 勤務先等
家族構成に変更がある場合（世帯構成員が別居独立した場合など。）	該当者の住民票など，世帯から別居独立していることが証明できる書類	市区町村役場等
その他特別な事情について	免除選考を行うため，大学が必要と認める書類等	

●については，保険・損害賠償等による補填分を考慮します。

**※申請書類及び証明書類の記載に虚偽の事実が判明した場合は許可を取り消すことがあります。**

## 授業料免除（後期分）のフローチャート

申請書類のダウンロード

<http://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/002.html>  
からダウンロード

申請期限  
**令和2年10月15日(木)**  
**17:15まで**  
(郵送する場合は、  
**10月15日(木)必着**)

学生課学生係に提出してください。  
期限を過ぎた場合は一切受理できません。

書類に不備がないように注意してください。

※ 選考結果通知書交付開始の掲示をするまでは、授業料の納付が猶予されます。  
授業料免除を申請していても、**選考結果通知書が交付される前に授業料を納付した場合は、授業料免除の資格を失います**ので、ご注意ください。

選考結果通知  
令和2年12月下旬(予定)

選考結果通知書の交付開始については、掲示でお知らせします。  
学生課学生係窓口で通知書を交付します。

全額免除

半額免除

不許可

授業料半額の  
納付が必要

授業料全額の  
納付が必要

※ 免除申請の結果が、不許可又は半額免除になった者は、通知後速やかに授業料を納付してください。

提出書類により取得した個人情報、は、授業料免除者選考の事務手続きのために利用し、その他の目的には利用されません。

# 授業料免除申請提出書類チェック表

(R2後期 大学院)

所 属	携帯電話番号	-	-
学 年 (M・L・P・PL)	年 学籍番号	氏 名	

## 【全員が提出するもの】

- 授業料免除申請提出書類チェック表
  - 授業料免除申請書
  - 家庭調査書
  - 同一生計内の世帯全員分の住民票(下表参照) ※世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行のもの(マイナンバーの無いもの)
  - 令和元年分の課税証明書(下表参照) ※収入の有無にかかわらず世帯全員分。ただし就学者は除く。
  - 令和元年分の所得を証明する書類(下表参照) ※収入の有無にかかわらず世帯全員分。ただし就学者は除く。
  - 授業料免除関係調査票
  - アルバイト等収入報告書
  - 封筒(長形3号) ※表面に自分の所属・学籍番号・氏名を記入したもの
- [今年度入学者のみ(私費留学生を除く)]
- 出身大学の成績証明書

※以下の申請において成績証明書を提出済みの場合、再提出は不要。(提出した申請手続きにチェックを入れてください。)

- 令和2年度入学科免除・徴収猶予申請
- 令和2年度前期授業料免除申請
- 令和2年度日本学生支援機構奨学金 給付奨学金
- 令和2年度日本学生支援機構奨学金 貸与奨学金

## 【職業等の別による提出書類の例】

(就学者以外) ○:必ず提出 △:状況に応じ提出 ×:提出不要

職業等	該当者(続柄)を記入	住民票	課税証明書(最新のもの)	所得証明書(最新のもの)	年金通知書	無職無収入の申告書	雇用保険受給資格者証(写)	その他
給与所得者		○	○	○	×	×	×	△
令和元年(平成31年), 令和2年に就職した人(予定含む)		<b>詳細は別表のとおり</b>						
令和元年(平成31年), 令和2年に退職した人(予定含む)								
自営, 農業, その他		○	○	○	×	×	×	△
年金, 恩給等受給者		○	○	○	○	×	×	△
専業主婦		○	○	○	×	○	×	△
失業者		○	○	○	×	○	△	△
未就学児		○	×	×	×	×	×	△

## (就学者)

職業等	該当者(続柄)を記入	住民票	課税証明書(最新のもの)	所得証明書(最新のもの)	証明書(授業料免除状況)	在学証明書	アルバイト料支払(見込)証明書	その他
本人	本人	△	△	△	×	×	△	△
大学生(国立)		△	×	×	○	×	×	△
大学生(公立)		△	×	×	×	○	×	△
大学生(私立)		△	×	×	×	○	×	△
高専生(4.5年生)		△	×	×	○	×	×	△
高専生(1.2.3年生)		△	×	×	×	○	×	△
専門学校生		△	×	×	×	○	×	△
高校生		△	×	×	×	○	×	△
中学生		○	×	×	×	×	×	△
小学生		○	×	×	×	×	×	△

【次ページに続く】

# 授業料免除申請提出書類チェック表

(R2後期 大学院)

【前ページより】

## (その他 該当する場合に必要な書類)

職業等	該当者(続柄) を記入	提出書類	備考
身体障がい者等		身体障がい者手帳等(写)	詳細は担当窓口で確認 してください。
長期療養者		医師の証明書(発行から1年以内のもの)等	
風水害, 盗難等の被害を受けた者		罹災証明書及び罹災額調査書等	
生活保護受給世帯		生活保護受給証明書等	
児童手当受給者		児童扶養手当支給額証明書等	
専門実践教育訓練給付金受給者		受給額が証明できる書類	
単身赴任で別居中の世帯		単身赴任の証明書, 住居費等の実費を確認できる書類等	
学資負担者が死亡した者 (R2.4.1~R2.9.30)		戸籍抄本, 死亡診断書等	
独立生計者		所得証明書, 預金通帳(写), 1ヶ月当たりの生活状況調べ等	
その他		事情により大学が必要と認める書類等	



(授業料免除申請提出書類チェック表 別表)

【令和元年(平成31年)、令和2年に就職又は退職した人がいる場合の書類の提出例(予定含む)】

○：必ず提出 △：状況に応じ提出 ×：提出不要

職業等	該当者(続柄)を記入	住民票	略歴(H31.1～)	課税証明書(最新のもの)	所得証明書(最新のもの)	R2.3まで在学していたことを証明する書類	年収見込証明書	源泉徴収票	無職無収入の申告書	雇用保険受給証明書(写)	退職(予定)証明書	退職金支給日・支給額(予定)証明書	その他
R2.4から就職(R2.3まで学生の場合)		○ 世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズの内紙にメモ書きしたもので可。	○ R2.3まで在学していたことを証明する書類の提出により省略できる。	○ R2.3まで在学していたことを証明する書類の提出により省略できる。課税証明書に所得金額が記載されている場合も不要。	○ 在学証明書・学生証(写)など。課税証明書・所得証明書を提出する場合は不要。	○ R2.4～R3.3分。取得が困難な場合は最新3ヶ月分の給与明細書(写)等	×	×	×	×	×	△ 大学が必要と認める書類。(事情によって提出を求める場合があります。)
H31.1以降に就職		○ 世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズの内紙にメモ書きしたもので可。	○	○ 課税証明書に所得金額が記載されている場合は不要。	×	○ H2.1～R2.12分。取得が困難な場合は最新3ヶ月分の給与明細書(写)等	○ 令和元年(平成31年)分 ただし、R2.1以降に就職した場合は不要	×	×	×	×	△ 大学が必要と認める書類。(事情によって提出を求める場合があります。)
H31.1～R元.12に退職		○ 世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズの内紙にメモ書きしたもので可。	○	○ 課税証明書に所得金額が記載されている場合は不要。	×	×	○ 令和元年(平成31年)分 退職金の源泉徴収票も必要	○ 再就職した場合は不要。	○ 定年退職の場合は不要。	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 大学が必要と認める書類。(事情によって提出を求める場合があります。)
R2.1～R2.9の間に退職		○ 世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズの内紙にメモ書きしたもので可。	○	○ 課税証明書に所得金額が記載されている場合は不要。	×	×	○ 令和2年分 退職金の源泉徴収票も必要	○ 再就職した場合は不要。	○ 定年退職の場合は不要。	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 大学が必要と認める書類。(事情によって提出を求める場合があります。)

※平成31年1月以降に退職し再就職した場合等の提出書類は、上記の例の組合せによる。

# 授業料免除申請書

令和 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

所 属  
学籍番号  
氏 名

下記により授業料免除を受けたいので、許可くださるよう関係書類を添え、申請します。

## 記

- 1 令和2年度 後期分
- 2 免除を受けたい理由（詳細に）

※ 授業料免除の判定結果が「半額免除」であった場合、鳴門教育大学基金におけるSEO奨学基金用資金による修学支援を

- 希望する。  
 希望しない。

（注1）上の□いずれかにチェックを付すこと。

（注2）「鳴門教育大学基金におけるSEO奨学基金用資金による修学支援」とは、授業料免除の判定結果が半額免除であった者のうち、特に支援が必要と判定した者に対して、一定額を鳴門教育大学基金から支給する制度です。被判定者は、支援金を返還する必要はありません。（寄附者へお礼状を書いております。）

（注3）氏名は、必ず本人が自署すること。

備考 規格は、A4とする。

# 家庭調書

				学籍番号						
フリガナ				所属		学校教育研究科 第 年次				
氏名				学校教育学部		第 年次				
本人住所		〒 ( ) 番 ( )		家族住所		〒 ( ) 番 ( )				
家族及び所得(主たる家計支持者に○印・別居者に×印)	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額(税込)	所得金額(税込)	
		父				年			千円	千円
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月)									
	母				年			千円	千円	
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月)									
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
	所得金額(就学者を除く家族)合計								①	千円
就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(年額)			
	本人			国立鳴門教育大学		※自宅・自宅外	奨学金	千円		
				立		※自宅・自宅外				
				立		※自宅・自宅外	アルバイト	千円		
				立		※自宅・自宅外				
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(合計)							②	千円		
身体障害者	本人との続柄	障害の種類別		手帳番号	長期療養者	本人との続柄	病気の状況			
収入状況	給与所得	商・工・林・水産業所得		農業所得(1反=10a=1,000㎡)		その他の職業・雑所得		左記以外の臨時所得		
	(収入金額を記入)	営業種目 ( )		農作物 米・麦・雑穀 作付延面積 a		職種 ( )		退職金 千円		
	給与・賃金(賞与を含む) 千円	営業形態		野菜・果実・園芸等 a		家賃・地代		退職一時金 千円		
	役員報酬(賞与を含む) 千円	※ 1 個人経営 2 同族会社 3 その他 ( )		その他 ( )		千円		保険金 千円		
	専従者給与 千円	設備		従事者 家族 人 人		千円		資産譲渡 千円		
	年金・恩給 千円	機械 車両 台 台		米・麦・雑穀 ㎡ ㎡		千円		山林所得 千円		
	扶助料 千円	その他 ( )		野菜・果実・園芸等 ㎡ ㎡		千円		その他 ( ) 千円		
	その他 ( ) 千円	従事者 家族 人 人		その他 ( )		千円		千円		
	収入金額計(税込) 千円	売上高計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円		
	所得金額(税込) 千円	必要経費 千円		必要経費 千円		必要経費 千円		必要経費 千円		
	差引所得金額(利益金額)(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円			
所得金額(①) + 本人収入(②) の合計								③	千円	

(注) 1 ※印のところは○印で囲むこと。  
 2 記入にあたっては、必ず「申請のしおり」を参照すること。  
 3 千円未満の端数は切り捨てること。

# 家 庭 調 査 書

(令和2年10月1日現在)

					学籍番号	20720001 ※新入生は記入しない					
フリガナ	カト 教子				所属	学校教育研究科	(大学院生はこの欄にコース名を記入) 第1年次				
氏名	鳴門 教子					学校教育学部	(学部生はこの欄にコース名を記入) 第1年次				
本人現住所	〒(772-0051) 鳴門市鳴門町高島字中島99-7 学生宿舎5-201				家族住所	〒(772-8502) 鳴門市鳴門町高島字中島748					
家族及び所得(主たる家計支持者に○印・別居者に×印)	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額(税込)	所得金額(税込)		
	父	鳴門 学	51	農業	33年	自宅		千円	1,561千円		
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月 )										
	母	鳴門 育美	47	農業	22年	自宅		1,200			
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月 )										
	祖父	鳴門 大吉	80	無職	年	年金受給者		1,269			
	兄	鳴門 勝夫	25	会社員	2年	徳島建設㈱		3,043			
	姉	鳴門 文	24	家事手伝い	年						
	所得金額(就学者を除く家族)合計								① 記入しない 千円		
	就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(年額)		
本人	鳴門 教子	22	国立鳴門教育大学大学院		1	※自宅・自宅外	奨学金	360千円			
兄	鳴門 勉	20	国立徳島大学		3	※自宅・自宅外					
妹	鳴門 潮美	17	県立徳島高等学校		3	※自宅・自宅外	アルバイト	57千円			
						立	※自宅・自宅外				
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(合計)								② 446千円			
身体障害者	本人との続柄	障害の種類別		手帳番号		長期療養者	本人との続柄	病気の状況			
	姉	〇〇〇〇 3級		12345			祖父	〇〇〇〇〇			
収入状況	※収入状況は分かる範囲で記入してください。										
	給与所得	商・工・林・水産業所得		農業所得(1反=10a=1,000㎡)		その他の職業・雑所得		左記以外の臨時所得			
	(収入金額を記入)	営業種目 ( )		農作物 米・麦・雑穀 作付延面積 a		職種 ( )		退職金 千円			
	給与・賃金(賞与を含む) 千円	営業形態		野菜・果実・園芸等 a		家賃・地代		退職一時金 千円			
	役員報酬(賞与を含む) 千円	※1 個人経営		その他 ( )		利子・配当		保険金 千円			
	専従者給与 千円	2 同族会社		従事者 家族 人		資産譲渡		千円			
	年金・恩給 千円	3 その他 ( )		家族 人		山林所得		千円			
	扶助料 千円	設備 機械 台		使用 人		その他 ( )		その他 ( ) 千円			
	その他 ( ) 千円	従事者 家族 人		使用 人		収入金額計		収入金額計 千円			
	収入金額計(税込) 千円	売上高計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円			
所得金額(税込) 千円	必要経費 千円		必要経費 千円		必要経費 千円		必要経費 千円				
		差引所得金額(利益金額)(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円			
所得金額(①) + 本人収入(②)の合計								③ 記入しない 千円			

(注) 1 ※印のところは○印で囲むこと。  
 2 記入にあたっては、必ず「申請のしおり」を参照すること。  
 3 千円未満の端数は切り捨てること。

# 年間収入(見込)証明書

被雇用者住所 \_\_\_\_\_

被雇用者氏名 \_\_\_\_\_

被雇用者生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

雇用年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

## 給与支払状況

対象月	支払(予定)額	対象月	支払(予定)額
令和2年1月	円	令和2年10月	円
令和2年2月	円	令和2年11月	円
令和2年3月	円	令和2年12月	円
令和2年4月	円	令和2年1月	円
令和2年5月	円	令和2年2月	円
令和2年6月	円	令和2年3月	円
令和2年7月	円	夏期賞与	円
令和2年8月	円	冬期賞与	円
令和2年9月	円	合計	円

※ 金額は支払総額

年間収入(見込)額について上記のとおり証明します。

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

所在地 \_\_\_\_\_

事業所名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

印

# 無職無収入の申立書

令和 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

免除申請者氏名 \_\_\_\_\_

申立者氏名  
(申請者との続柄) \_\_\_\_\_ ( )

令和2年度後期授業料免除の申請にあたり、申立者は下記のとおり無職無収入であることに相違ありません。

記

無職である事情や現在の状況（具体的に記入すること）

(注) 申立者が自署すること

# 授業料免除関係調査票

申請者 学籍番号・氏名 \_\_\_\_\_

## 1. 授業料免除状況

就学者（兄弟姉妹）のうち、**国立**の高専以上の学校（高専（4年，5年），大学，大学院等）に通っている者が，

いる …… 下表に記入してください。

いない …… 記入終了。

※ 就学者(兄弟姉妹)が通う学校が公立又は私立である場合は，「いない」を選択してください。

就学者(兄弟姉妹) の氏名及び学年	学校名・ 学部名等	入学年度 (西暦)	令和元年(平成31年)度免除状況	
			前期	後期
(氏名)          (学年)		年	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除不許可 <input type="checkbox"/> 申請無し <input type="checkbox"/> 免除(その他) ( )	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除不許可 <input type="checkbox"/> 申請無し <input type="checkbox"/> 免除(その他) ( )
(氏名)          (学年)		年	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除不許可 <input type="checkbox"/> 申請無し <input type="checkbox"/> 免除(その他) ( )	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除不許可 <input type="checkbox"/> 申請無し <input type="checkbox"/> 免除(その他) ( )
(氏名)          (学年)		年	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除不許可 <input type="checkbox"/> 申請無し <input type="checkbox"/> 免除(その他) ( )	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除不許可 <input type="checkbox"/> 申請無し <input type="checkbox"/> 免除(その他) ( )
(氏名)          (学年)		年	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除不許可 <input type="checkbox"/> 申請無し <input type="checkbox"/> 免除(その他) ( )	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除不許可 <input type="checkbox"/> 申請無し <input type="checkbox"/> 免除(その他) ( )

- ・ 該当する項目の□欄に✓マークを入れてください。
- ・ 全額・半額以外の免除額の場合は「免除(その他)」を選択し，免除額の割合を( )内に記入してください。

# アルバイト等収入報告書

本人又は配偶者の収入について

1. 前年 (H31.1.1~R1.12.31) に収入がありましたか。 (はい・いいえ)

2. 当年 (R2.1.1~R2.12.31) に収入がある予定ですか。 (はい・いいえ)

上記1, 2の質問に「いいえ」と答えた人は、記入終了です。

上記の質問に1つでも「はい」と答えた人は、下欄に必要事項を記入し、アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払(見込)証明書」を添付してください。(添付の例外あり。「授業料免除申請のしおり」参照。)

アルバイト先 名称	職種	期間 (雇用期間の 始期と終期)	収入金額 (年額・税込)			収入を得た者 (いずれかを○)
			令和元年	令和2年		
			1~12月	1~7月	8~12月	
						本人 配偶者
						本人 配偶者
						本人 配偶者
						本人 配偶者
計		A				

- 注) 1. 令和元年の収入金額は、1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。  
 2. 令和2年の収入金額は、1月から7月までの間に実際に得た金額と、8月から12月(見込額を含む)に分けて記入してください。

給付奨学金等、返還の必要が無い奨学金の額

給付奨学金等の名称	収入金額 (年額)			収入を得た者 (いずれかを○)
	令和元年	令和2年		
	1~12月	1~7月	8~12月	
				本人 配偶者
				本人 配偶者
計	B			

A+B

注) 3. B欄の金額は、「家庭調書」の奨学金欄に年額を計上してください。

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

申請者 (学部・大学院) 第 年次

学籍番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_



# アルバイト等収入報告書

本人又は配偶者の収入について

1. 前年 (H31. 1. 1~R1. 12. 31) に収入がありましたか。 (はい  いいえ)

2. 当年 (R2. 1. 1~R2. 12. 31) に収入がある予定ですか。 (はい  いいえ)

上記1, 2の質問に「いいえ」と答えた人は、記入終了です。

上記の質問に1つでも「はい」と答えた人は、下欄に必要事項を記入し、アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払(見込)証明書」を添付してください。(添付の例外あり。「授業料免除申請のしおり」参照。)

アルバイト先 名称	職種	期間 (雇用期間の 始期と終期)	収入金額 (年額・税込)			収入を得た者 (いずれかを○)
			令和元年	令和2年		
			1~12月	1~7月	8~12月	
〇〇宅	家庭教師	R1. 10~ R1. 12	20,000			<input checked="" type="radio"/> 本人 <input type="radio"/> 配偶者
〇〇スーパー	レジ	R1. 7~ R2. 4	57,000	21,000		<input checked="" type="radio"/> 本人 <input type="radio"/> 配偶者
〇〇ホテル	フロント	R2. 1~ R2. 11		70,000	50,000	<input checked="" type="radio"/> 本人 <input type="radio"/> 配偶者
						本人 配偶者
計		A	77,000	91,000	50,000	

- 注) 1. 令和元年の収入金額は、1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。  
 2. 令和2年の収入金額は、1月から7月までの間に実際に得た金額と、8月から12月(見込額を含む)に分けて記入してください。

給付奨学金等、返還の必要が無い奨学金の額

給付奨学金等の名称	収入金額 (年額)			収入を得た者 (いずれかを○)	
	令和元年	令和2年			
	1~12月	1~7月	8~12月		
日本学生支援機構 給付奨学金	360,000	210,000	150,000	<input checked="" type="radio"/> 本人 <input type="radio"/> 配偶者	
				本人 配偶者	
計	B	360,000	210,000	150,000	

A+B 437,000

注) 3. B欄の金額は、「家庭調書」の奨学金欄に年額を計上してください。

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

申請者 (学部  大学院) 第 年次

学籍番号 1 1 1 1 1 1 1 1

氏名 鳴門 教子



# アルバイト料支払（見込）証明書

鳴門教育大学（学部・大学院） 年次

申請者氏名

授業料免除申請をしますので、私のアルバイト料について下記により証明して下さるようお願いいたします。

## 記

被雇用者氏名	
仕事内容	
雇用期間	年 月から 年 月（予定）まで
令和2年中 （1月～12月） の支払（見込）額	円（ 月から 月（予定）まで 月分）

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

雇用者住所

雇用者氏名

印

電話番号

## アルバイト料支払（見込）証明書

(記入例)

鳴門教育大学（学部・大学院） 1 年次

申請者氏名 鳴門教子

授業料免除申請をしますので、私のアルバイト料について下記により証明して下さるようお願いいたします。

## 記

被雇用者氏名	鳴門教子
仕事内容	コンビニエンスストア レジ
雇用期間	令和2年4月から令和3年3月(予定)まで
令和2年中 (1月～12月) の支払(見込)額	107,000円(4月から12月(予定)まで9か月分)

上記のとおり証明します。

令和〇〇年〇月〇日

雇用者住所 鳴門市鳴門町高島

雇用者氏名 高島 育夫 印

電話番号 088 - 633 - ××××

# 1ヶ月あたりの生活費状況調べ

(R2.4月～R2.9月の間で、ひと月あたりの平均的な収支を記入してください。)

申請者 学籍番号・氏名 \_\_\_\_\_

収 入			支 出		
1	父母からの給付額 (送金方法を記入 ex. 銀行振込等)	円	1	食 費	円
			2	住居費	円
2	アルバイト等	円	3	光熱水費	円
			4	通学交通費	円
3	給付奨学金等	円	5 教育費 ※		
			前期授業料	円	
			授業料月額	円	円
			6	小遣い	円
4	その他	円	7	その他	円
		円			円
		円			円
収入計		円	支出計		円
収入計－支出計					円
備考欄 (生活費が不足する場合の補填方法等)					

※ 教育費には、1ヶ月あたりの授業料額(授業料半期分÷6ヶ月)を含めてください。  
 授業料免除を受けた人は、免除額を除いた額で計算してください。